

月刊 グラフィックサービス

No.889
2025 12



株式会社クリエイイト横浜
制作部 部長兼統括工場長
高山 貞さん

株式会社クリエイイト横浜
企画事業部 ディレクター
和田 道也さん

株式会社クリエイイト横浜
代表取締役社長
上澤 宏史さん

■ 巻頭企画

ジャグラ作品展大臣賞受賞企業に聞く

開発・開拓部門 厚生労働大臣賞 株式会社クリエイイト横浜

■ 巻頭言

カッターからマウスへ

——神奈川県支部長／有さくらプロセス 櫻井 薫

■ 寄稿

SPACE-21 全国協議会茨城大会報告
行こうぜ、印刷の向こうへ

■ NEWSとお知らせ

ジャグラ作品展募集
ジャグラ文化典大阪大会 PR
マスターズクラブメンバー募集
会員実態調査アンケートへのご協力のお願い
東グラ・組合まつり 2025

CONTENTS

■ 巻頭言

- 1 **カッターからマウスへ**
神奈川県支部長／(有)さくらプロセス 櫻井 薫

■ 巻頭企画

- 2 **ジャグラ作品展大臣賞受賞企業に聞く**
(株)クリエイト横浜 代表取締役社長 上澤 宏史

■ 寄稿

- 24 **SPACE-21 全国協議会茨城大会報告
行こうぜ、印刷の向こうへ**

■ NEWSとお知らせ

- 5 **ジャグラ作品展募集**
7 **ジャグラ文化典大阪大会PR**
8 **マスターズクラブメンバー募集**
9 **会員実態調査アンケートへのご協力をお願い**
28 **東グラ・組合まつり2025**

■ NEWSとお知らせ

- 20 ジャグラBBホットニュース
21 業界の動き
ホリゾン スマートソリューションフェア開催
印刷タイムス 70 周年記念対談
日本印刷機材協議会 総会開催
23 JFPI REPORT ダイジェスト版

- 10 雑学コラム③
29 事務局日誌と今後の予定

- 10 (株)研美社
11 リコージャパン(株)
12 学校法人日本プリンティングアカデミー後援会
13 ホリゾン・ジャパン(株)
14 富士フィルムグラフィックソリューションズ(株)
15 (株)小森コーポレーション
16 (株)ショーワ
17 東京リスマチック(株)
18 (株)モリサワ
19 (株)モトヤ
表4 リョービ MHI グラフィックテクノロジー(株)

月刊グラフィックサービス 発行趣意

月刊『グラフィックサービス』は、一般社団法人日本グラフィックサービス工業会会員、関係諸団体およびすべてのステークホルダーの皆様に、自社の質的向上に役立ち、知恵と勇気を分かち合うことを目指し発行するものです。

本会の存在意義である人間交流スペースを構築し、社会の多様な要請にタイムリーに対応しつつ、共通の経営課題を持つ会員をネットワーク化し、その交流を積極的に支援するとともに小さいことでも有利となる経営施策も発信する情報ターミナルとなることを理想とします。

またその情報発信手段は誌面にとどまらず、環境に応じて多様な発信方法を検討、遂行することを責務とします。

【概 要】

発行回数	月1回 / 年間12回	配布方法	・全会員へ直接郵送
購読料	ジャグラ会員は無償（会費に含む） ・希望企業、団体への有償配布		・ジャグラホームページからのダウンロード

本誌へのご意見・ご要望・記事提供は下記宛お寄せください

Eメール edit@jagra.or.jp 電話 **03-3667-2271** ファクス **03-3661-9006**

お手紙 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 〒103-0001 (一社)日本グラフィックサービス工業会 宛

カッターからマウスへ

神奈川県支部長／(有)さくらプロセス

櫻井 薫



「写真製版レタッチを覚えれば一生食っていける。」

取引先の印刷会社の社長からよく言われました。私がこの業界に入ったのが20歳のとき。振り返ればそれから39年、技術の進化は想像を超えるスピードで進み、製版の現場も劇的に変化していきました。いまでは語られることが少なくなった“写真製版”について、私自身の体験を通して振り返ってみたいと思います。

ジャグラでは活版印刷や謄写版の昔話がよく話題になりますが、写真製版の話は意外と出てきません。

Macが普及する以前、製版は完全にアナログで行われ、原稿作成から刷版まで、多くの工程が“手作業”に支えられていました。写植屋さんから届く版下は印画紙で、その上に重ねられたトレーシングペーパーには「ベタ白抜き」「網のパーセント」「罫線の生き・アタリ」「色分け」といった指示が細かく書かれています。いまのデジタルデータの指示書に相当するものですが、当時は職人同士の経験と理解がなければ読み解けない情報も多くありました。

写真製版の最初の工程は大型製版カメラでの撮影です。露光量の調整、ピント合わせ、ライトムラのチェックなど、ひとつの版下を撮影するにも技術が問われました。

暗室での現像作業も緊張の連続で、自動現像機からフィルムが出てくる瞬間は“きれいに上がってくれ”と祈るような気持ちでした。仕上がったネガフィルムをライトテーブルに並べ、オペークでピンホール（ゴミ）を消していきます。繁忙期で忙しい時はこの作業は単調ながら集中力が必要で、疲れが溜まると消してはいけない部分まで消してしまう……そんな苦い経験もありました。

続いて行うのがレタッチ作業です。指示を読み取りながら赤ベース（遮光ベース）をカッターで切り、写真には網点処理を施し、必要な部分に網（チント）を貼る。いまのデジタルでいえば「レイヤー」「合成」「マスク」「トリミング」にあたる部分を、すべて手で行っていたわけです。写真の切り抜きは熟練を要し、特に人物写真の髪の毛の部分は神経を使いました。少しでも角度を間違えると不自然な仕上がりになるため、息をつめて刃を動かしたものです。

必要な材料がそろくと、反転プリンターで合成を行い、最終のポジまたはネガフィルムを仕上げます。多色刷りの場合は、色ごとにフィルムを作成するため、一つの案件で膨大な枚数を扱うこともありました。

当時はフィルム制作までの会社、刷版のみを扱う会社と分業されていることも多くありましたが、弊社は両方を手がけていたため、PS版に焼き込み、印刷会社様に納品するところまでが一つの流れでした。そのため、フィルム一枚一枚は自分の“作品”のような感覚があり、非常にやりがいがありました。Macの普及、DTPの急速な浸透、そしてフィルムレス化とCTPの登場。製版の歴史はここから一気にデジタル時代へ移行します。

かつてカッターやオペークで行っていた作業は、マウス一つで瞬時に処理できるようになりました。フィルムの保管場所も不要となり、工程もスピードも精度も向上しました。仕事環境は大きく変わったと言わざるを得ません。

しかし、アナログで学んだ経験は今も活かしています。露光や濃度の感覚、光と影の扱い方、写真の調子の読み方。これらはデジタルの画面上では理解しづらい“身体で覚えた知識”でした。アナログを知ったからこそ、いまのデジタルの便利さや危うさも理解できるように思います。

印刷と製版の世界は大きく変化しました。しかし、“良い印刷物を届けたい”という思いは昔も今も変わりません。

カッターを握り、フィルム・現像液の匂いに包まれて働いたあの頃は、苦労も多かった反面、ものづくりの原点を身体で感じられる時代でもありました。写真製版を知る人が少なくなったいまこそ、当時の経験を次の世代に伝えることが私たちの役目のひとつだと感じています。

印刷もアナログからデジタルへ、そしてAIへと進化を遂げてきました。製版フィルムからCTPへ、DTPの普及、デジタル印刷機の高度化、さらには生成AIや自動化技術の台頭など、私たちが経験してきた変化は一つひとつが大きな転換点でした。そして、その流れはこれからも緩むことはありません。むしろ、技術進化の速度はこれまで以上に加速し、私たちの想像を越えるスパンで新しい選択肢やビジネスモデルが登場してくるはずです。

幾度となく大きな変革の波を経験し、そのたびに乗り越えてきました。だからこそ、未来を悲観的に見る必要はありません。いつの時代も“変化を恐れず一歩踏み出す人”その“人”が未来をつくるのです。

そんな思いを胸に、今日もマウスを握り新しい可能性を探っています。

ジャグラー作品展 大臣賞受賞企業に聞く

令和6年度ジャグラー作品展開発・開拓部門で最高賞の厚生労働大臣賞を受賞された株式会社クリエイト横浜にご寄稿いただき、受賞の喜び、作品に対する思い、完成に至るまでの裏話などを語っていただきました。

ハガミさん

開発・開拓部門 厚生労働大臣賞

株式会社クリエイト横浜 代表取締役社長 上澤 宏史

この度は、令和6年度ジャグラー作品展開発・開拓部門の中から弊社ハガミさんが厚生労働大臣賞を賜り、誠にありがとうございます。

ハガミさんは今年で3年目の作品で過去の2回にも技術優秀認定証を頂いた事があり、今年も賞を頂けたと社員に受賞通知を見せたところ、「厚生労働大臣賞と書いてある」と言われ、「そんな大層な賞を頂けたのか」と何度も見直してしまいました。



弊社ハガミさんの語源ですが、印刷物の断裁時に出る細長い端紙が元になっております。

それを毎日専用のズタ袋に入れて捨てているのを見て「この細長い紙から何か出来ることはないか?」と思い、手先が器用な社員が端紙をアコーディオン型に折ってみたり、長方形の同じ長さで

ボールを作ったり、丸い輪を作って輪っかにしたりと色々な物を作りはじめたのがきっかけでした。当社が神奈川県支部のSDGs委員会に入会している事もあり、日頃から残紙やヤレ紙の処分など、紙の廃棄について気にしていた結果かもしれません。

その細長い端紙を大小取り揃えてパッケージにしたのがハガミさんのはじまりでした。

商品の裏には制作事例を入れておりますが、細長い紙は作る方の感性で色々な形になるかと思えます。

細長い端紙の次に取り組んだのが、オンデマンド印刷機から毎日出力されているカラーチャート調整紙でした。フルカラーで印刷をして色ブレが無いかな等の確認をしている調整紙も毎日処分されているので、この用紙も何か使い道がないかと考えました。A3ノビの用紙なので丸めてメガホンにする、ランチョンマットにするなどの案もありましたが、同じ様な商品が既に世の中にあったため断念。その後、社員の一人が「花屋さんで花を渡す時に使える紙にならないか」とのヒントから、病室などで花瓶などが無い場合、自動販売機で購入したペットボトルを使って花瓶にできるように、ペットボトルに被せるペーパーカバーを制作し、『ハガミさんが印刷所で見つけた印刷時に出る余剰紙や調整紙を使った花瓶が無くても花を飾れるとってもECOなペットボトル・ペーパーカバー』という長い商品名といたしました。

次に、名刺サイズの端紙を使って何か作れないかということで、紙製のホイッスルを作成してみました。この商品は糊とハサミを使って折り込んでいくと笛になるという商品です。音が鳴る箇所を見つけるために実際に吹きながら吹き口の角度を調節するのが少し難しいですが、小さい子ども達のイベントなどでは、自分で切って折った紙から音が出て喜ぶ顔を見ると、普段何気なく捨ててしまう紙にも工夫次第で再利用が出来るのだと改めて感心しております。商品名は『ハガミさんが印刷所で見つけた印刷時に出る余剰紙や印刷調整紙を使ったハガミさん紙ホイッスル』でこちらも販売させてもらっております。

そして最近ハガミを使用して作った商品がハガミコプターという空飛ぶ?ハガミさんです。

これも名刺サイズで3種類作れる商品となっており、高い所から落とすとクルクルと回りながら落ちる姿をヘリコプターに見立てて、『印刷調整紙を使ったペーパートイハガミコプター』という名前にしております。

冒頭にお話した神奈川県支部のSDGs委員会ですが、当初SDGsワーキンググループとして立ち上げていただいたものになります。

コロナ禍の真っ最中だった4年前、一度経済が止まって仕事が激減していた時に、SDGsという言葉と派手なカラーリングのバッジをよく見聞きすることがありました。調べてみると、どうやらその派手なカラーリングには意味



展示風景

があり、それぞれ達成すべき17の目標を表しているということでした。目標自体は「貧困をなくそう」「すべての人に健康と福祉を」「海の豊かさを守ろう」「陸の豊かさを守ろう」など、印刷自体にできることはないように感じられましたが、環境用紙の提案やガリ版教室による印刷の歴史の教育、端紙やヤレ紙の廃棄削減など考えれば考えるほど出来ることは後から見つかります。

その身近な一つひとつの活動により持続可能な開発(様々な課題を解決しながら、日々の生活と暮らしを続けること)が出来るということに感銘を受け、何か出来ることは無いかと思い、SDGsワーキンググループを神奈川県支部で立ち上げて頂いたのが、現在のハガミさんの商品開発に繋がっているかと思えます。

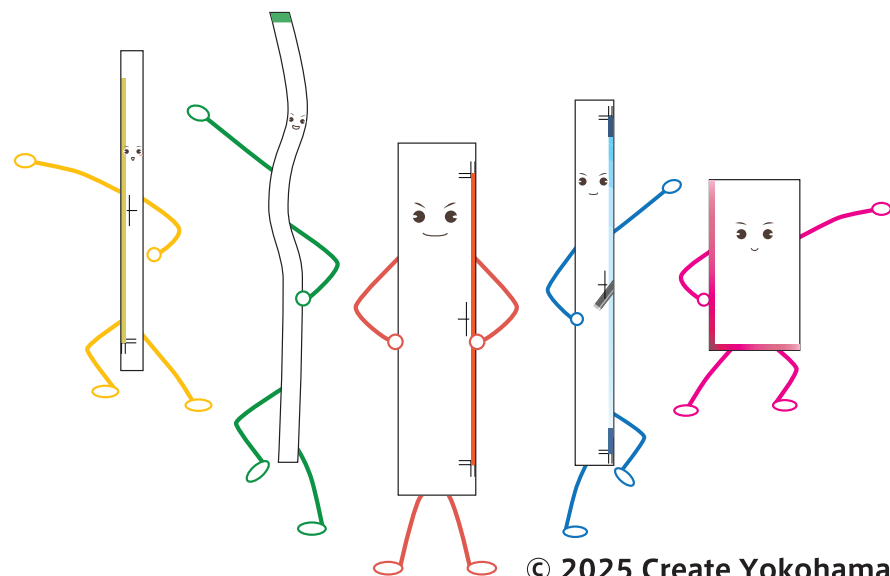
そのSDGsの活動中に、横浜で障がい者施設の方が描いた文字や絵をデジタル化して販売するご当地フォント共



ECOなペットボトル・ペーパーカバー



ハガミコプター



© 2025 Create Yokohama Co.,Ltd.

創プロジェクトをされている横浜フォントさんと出会い、障がい者施設の方が描いた6枚の絵を横浜の情報処理専門学校でデジタル処理をし、そのデータを弊社で余剰紙に印刷した商品を作りました。

横浜のアパホテル＆リゾート横浜ベイタワー1F「haishop」で昨年2024年12月2日から30日まで開催していた展示販売会にて販売させて頂き、その売り上げの一部を障がい者施設へ寄付をするといった活動に参加いたしました。

その他にも、いそご地域活動ホームいぶきさんのチャリティーバザーにハガミさんを展示し、こちらも売り上げの一部をいぶきさんの事業活動費に寄付をする活動など、SDGsを通じて様々な団体と接点を持てたことが何よりの結果だと思っております。



あみこみBOXと紙ホイッスル

現在も一緒に活動しているジャグラ神奈川SDGs委員会のメンバーと、毎年参加している印刷屋さんのお仕事展でのガリ版教室でも、使用している用紙は全て余剰紙を使用しております。

今後のハガミさんの活動ですが、5人（5枚？）のマスコットを使って、キャラクターとして覚えていただき、印刷の楽しさや歴史を覚えて印刷（紙）について興味を持ってもらって、ゆくゆくは印刷時に出る余剰紙などで作るとてもエコな商品としてハガミさんを認知してもらえようがんばります。

最後になりましたが、今回のハガミさんの発想は、私がジャグラ神奈川のSDGs委員会の会員でなければとても発想が出来ませんでした。この場を借りてジャグラ神奈川のみなさまへ御礼を申し上げます。

そして「ジャグラに入ればこんな仲間と出会える」と仲間作りに貢献出来るよう、今後も広報活動を行っていければと思っております。



ガリ版教室



出版部門

業務用印刷物部門

優秀作品には大臣賞を授与!!



宣伝部門

開発・開拓部門

ジャグラ作品展募集は 2025年 12月1日から 2026年 3月31日まで!

【作品は2025年に作られたものに限りです】 **Apply now!**

～ 令和6年度 大臣賞受賞作品 ～



出版部門 経済産業大臣賞
『目で見える馬術』
オリンピック印刷（株）／大阪府支部



宣伝部門 経済産業大臣賞
『ブラックライトカクテルメニュー』
長瀬印刷（株）／福島県支部



業務用印刷物部門 厚生労働大臣賞
『年賀状が、ヘビをテーマにしたカードゲーム!?!』
(株)ガリバー／神奈川県支部



開発・開拓部門 厚生労働大臣賞
『ハガミさん』
(株)クリエイティブ横浜／神奈川県支部

開催要項

〈審査対象〉

作品は2025年中に完成したものに限りです
(2025年1月1日～12月31日までの作品)

〈審査方法〉

全三回の審査会にて審査基準に基づき採点し、順位を決定

〈応募方法〉

- ・応募作品に申込書を添えて、本部までご送付ください
- ・申込書はジャグラHPよりダウンロードできます
- ・原則、作品の返却は行っておりません

「ジャグラ作品展」とは

グラフィックサービス業の技術力向上やマーケットへのアピールを目的とするものでジャグラの前身である日本軽印刷工業会が社団法人を設立した1966年より開催されている歴史あるコンクールです。

過去の受賞作品はこちら→





ジャグラ作品展出品申込書

No.

事務局記入蘭

申込日 年 月 日

会 社 名		担 当 者	
住 所		支 部	
E-mail		電話 / FAX	

☐ 発注者に出品の了解を得て、または受賞後了承を得る予定の作品、かつ著作権を侵害したものではありません。

チェックをお願いします

事務局キリトリ線

作品名

(記入必須)

No.

事務局記入蘭

希望する部門にチェックしてください（希望にそえない場合もあります）

- ☐ **出版部門** **いわゆる出版物と言われるもの**
単行本、文芸書、文集、記念誌、教科書、学術参考書、専門書、法規集、写真集、雑誌、ハンドブック、自費出版、復刻版など
- ☐ **宣伝部門** **宣伝的要素の強い印刷物で、主としてカラー印刷物や凝った印刷物、デジタルコンテンツ**
カタログ、ポスター、ダイレクトメール、リーフレット、チラシ、POP、パンフレット、カレンダー、PR誌、各種案内書、HPなど
- ☐ **業務用印刷物部門** **本業界が主流としてきた印刷物。また、商業印刷物のうち、モノクロ印刷物も含む**
研究報告書、機関誌、便覧、手引書、会議資料、大会等資料、会報、年報、パーソナルユース（年賀状、レターヘッド、ハガキ、名刺）など
- ☐ **開発・開拓部門** **顧客からの受注製造ではなく、自社で開発した商材・サービス**
自社開発のコンテンツ、アプリ、デジタルコンテンツ、販促グッズ、独自提案ツール、独自加工技術など

特に評価して欲しい項目にチェックしてください（複数選択可能）

<input type="checkbox"/> 企画・編集への参画 製作物の企画構成・取材・執筆・編集・校正などへの参画	<input type="checkbox"/> 設計・提案 表紙・本文のデザイン・書体・用紙・加工、素材等の提案	<input type="checkbox"/> 文字組版 難易度が高い・禁則ルール等
<input type="checkbox"/> 完成度 印刷や造本、製作物の仕上がり	<input type="checkbox"/> 後加工・付加価値 特殊加工・特殊印刷等	<input type="checkbox"/> 開発・開拓 新商品開発・新規開発手法・開拓の視点・狙い等
<input type="checkbox"/> 顧客開拓、創注 企画提案から顧客開拓、創注に結びついた	<input type="checkbox"/> 課題解決 お客様の課題解決に結びついた	<input type="checkbox"/> マーケティング・効果測定 マーケティング・効果測定・デジタル技術の活用
<input type="checkbox"/> 社会性 CSR・SDGs・持続可能な社会貢献等	<input type="checkbox"/> その他（	）
<input checked="" type="checkbox"/> アピールポイント （自由にご記入下さい）【任意】		

OGS 大阪府グラフィックサービス協同組合理事長 小幡 利之

マスターズクラブ メンバー募集

ジャグラを応援する諸先輩の集い

ジャグラマスターズクラブは、世代交代等で一線を退かれた満60歳以上の会員企業を対象とするOB会です。若手のSPACE-21、現役の本部、諸先輩のマスターズクラブの三世代が協調し合ってジャグラの発展を目指します。諸先輩の皆様、まずはご登録お願いいたします。

主な活動

- ・ジャグラ文化典への参加
- ・マスターズクラブ総会の参加
- ・本部事業、地協、支部活動への参加応援
- ・各地での諸先輩の交流イベント開催

参加資格

ジャグラ会員企業で代表者、役員経験者で本会の趣旨に賛同する満60歳以上の方

参加方法

下記フォームに登録または本部事務局にご連絡ください
(<https://forms.gle/C1viyEadwdo8fDfv9>)



<問合先>

電話番号 : 03-3667-2271

メール : k_Kasahara@jagra.or.jp または tanaka@jagra.or.jp



会員実態調査アンケートへのご協力のお願い

2026年2月9日締切

印刷業界を取り巻く経営環境は、急速なデジタル化の進展や人材不足、顧客ニーズの多様化といった大きな変化の中にあります。とりわけ中小印刷事業者においては、「社長しかできない仕事」「手書きによる作業指示」「どこからDXを始めればいいかわからない」といった声も多く、属人化や非効率な業務が生産性のボトルネックとなっている実態が浮き彫りになってきました。このような背景のもと、私たち生産性向上委員会では、業界全体の現状把握と課題の可視化を目的として、「会員実態調査」のアンケートを実施いたします。

本アンケートは、経営者ならびに現場のリアルな声を集めることで、ジャグラの次年度以降のより実効性のある支援策の立案や、他社の成功事例との比較分析、新たな共創モデルの構築へとつなげていくための第一歩となります。ご回答いただく内容は、会社規模や設備状況、業務の属人化状況、DXの取組状況、そして今後の経営課題や創注への取組といったものです。集計結果は統計的に処理され、個別企業名が公表されることは一切ありません。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、ジャグラの活動のさらなる活性化と業界の持続的な発展と皆様の経営のヒントにつながる機会として、ぜひご協力賜りますようお願い申し上げます。



ジャグラコンパクトDX事業担当 副会長

原 田 大 輔

会員実態調査 2025 は
こちらから回答してく
ださい。





雑学コラム③⑥ 野口聡の

47 都道府県のお話（その 34：和歌山）

ジャグラ会報をご覧の皆様、こん〇〇は。ジャグラ東京・東
グラ文京支部のアクティブ・野口です。

さて、今回取り上げるのは和歌山県です。

いつもの事です、皆様の和歌山県のイメージと言ったらな
んでしょかね。みかん・梅干し・備長炭・クジラ辺りでしょ
うかね。

でも今日は和歌山県と高校野球について書いていこうと思
います。平成から令和の和歌山県と云えば智辯和歌
山が真っ先に上がると思いますが、私の様に昭和のオッサンだ
とやはり箕島高校ではないでしょうか。尾藤監督の元 1970
～ 80 年代の高校野球をリードし、春夏合わせて 4 回の優勝、
特に 1979 年は 3 校目（当時）の、しかも公立高校としては
現在でも唯一の春夏連覇を達成。その中でも夏の甲子園 3 回戦・
対星稜での延長 18 回の熱戦は今でも映像などで確認できる大
熱戦だったのです。因みに和歌山県は知人ぞ知る野球大国で
西口文也（県和歌山商）、東尾修・吉井理人（箕島）、藤田平（市
和歌山商）etc. とまあ多数の野球人を輩出しています。

次はある野球人の話をしようと思います。それは嶋清一（し
ま・せいいち）と云う人物です。この方を知っている、と云う

人は地元の方が、クイズが好きな人か、高校野球が相当好きな
方だと思います。さてどのような方なのでしょう。

嶋は戦前の中等学校野球の時代の大エースで 1939 年、和
歌山県海草中時代に夏の甲子園に出場し 1 回戦から決勝までの
5 試合をすべて完封（!）、それだけでも伝説級なのに更に準
決勝・決勝を 2 試合連続のノーヒットノーランで締めくくると
いうオオタニサードでも実現不可能な記録を残した選手なので
あります。左腕から投げ下ろす速球と「懸河の如き」と称され
たドロップ（今でいうと縦に曲がり落ちるカーブ）でバッター
を打ち取り、当時の記事では「天魔鬼神の快投」と評されたよ
うです。でも、こんな名選手でも沢村栄治と同様に戦火に散っ
てしまった訳で。もちろん私は直接は観れませんが、プロ野球
で観たかったですね。絶対何かしらの記録は残していたでしょ
うから。そんな嶋ですが、さすがに話が古すぎてみんなからの
記憶も薄れかけていた所で唐突に脚光を浴びることになりまし
た、なぜでしょう？

それは嶋が決勝でノーノーを達成した 59 年後の 1998 年の
夏の甲子園において「平成の怪物」松坂大輔が決勝では嶋以来
のノーヒットノーランを達成したことによりです。この時の報
道で嶋の偉業が改めてクローズアップされてその後 2003 年
には「和歌山市の偉人」に選出され、野球界からも 2008 年
に野球殿堂の特別表彰を受けたそうです。良かった良かった。

つらつら書いてきたコラムもこの辺りで。今月もお付き合い
頂きありがとうございます、では今月の問題です。

問題：いわゆる「現存 12 天守」が残る日本のお城の中のうち、
最も北にあるのはどこでしょう？

（正解は 29 ページ）



アプリって割と簡単に作れるのです!

社内報アプリを 導入する企業続々!

近年、社内報をアプリで配信する企業増加中!
経営層からのメッセージや最新ニュース
などをリアルタイムで共有。
コメント機能やアンケート機能など、
デジタルが繋ぐ、広がるキズナ。

情報共有の
迅速化

データ分析による
効果測定

閲覧率・
読了率の向上
&
エンゲージメント
UP

ちょっと覗いて
みてください↓



うちの社内報

ちょっと覗いて
みてください↓

期待の
新社員
& 後輩☆

研美社広報 陳 (チン)

地域活性化を促進 デジタルスタンプラリー!

手軽に参加! 観光地や商業施設で、地域活
性化や集客促進に! スマホがあれば、いつ
もどこでも簡単に参加できます。参加者数や
達成率などの効果測定もタイムリーに OK!

ちょっと覗いて
みてください↓

御城印ラリ

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

御城印

人財育成への支援を通じて

会長

浅野 健

(株)金羊社
取締役会長

副会長

作道 孝行

作道印刷(株)
代表取締役

副会長

岡本 泰

(株)クイックス
代表取締役社長

業 界 の 「 未 来 」 を 創 る 。

日本プリンティングアカデミー後援会

会員募集中

50^{会員}
突破!

当後援会は、次世代を担う印刷関連産業人の「教育」と「成長」の支援を目的とした会です。私たちは、印刷業界に特化した教育機関である JPA への支援を通して、印刷業界で活躍できる次世代の人財育成をサポートしています。また、本会が会員同士の新たなビジネスネットワークの構築・ビジネスモデルの創出のきっかけになればとも考えております。

印刷業界の「未来」を創る＝人財育成の支援のために、ぜひ本会にご入会いただけますようお願い申し上げます。

年会費

法人会員 30,000 円
個人会員 10,000 円

入会特典

JPA 主催セミナーの割引
JPA が主催する社員向けのセミナーが、特別価格でご利用いただけます。
新入社員～管理職者向けまで企業の人財育成戦略に合わせた各種研修が受講できます。
※詳細についてはお問い合わせください。

入会方法

右の QR コードを読み取っていただき、入会申込フォームに必要事項を入力の上、お申込みください。申込が確認でき次第、事務局よりご連絡いたします。

お問い合わせ

電 話 03-3811-2734 後援会事務局 中村まで 平日 9:00 ～ 17:30

メー ル koenkai@jpa.ac.jp ※件名に「JPA 後援会」とご記入ください。



日本プリンティングアカデミーとは？

1978 年に、共同印刷株式会社をはじめとする業界関連企業からの支援で創立された、東京都認可の専門学校・Off-JT 教育機関です。創立より、「印刷業界の事業革新と社会的価値向上に貢献できる人財を育成する」を教育理念に掲げ、これまで約 1,000 名以上の卒業生を輩出しています。また、Off-JT 教育機関として年間 200 名を超える社員の研修も行っています。

印刷業界の人財育成なら当校にお任せください

専門学校

「今」の印刷業界で働くために必要な知識・技術を総合的に学べます。

- プリント・コンテンツ学科（1 年制）
- メディア・コンテンツ学科（2 年制）

企業研修

実機を使いながら学べる業界特化型研修で、企業が抱える人財育成における課題を解決します。

- ベーシック研修
- カスタマイズ研修
- 業務別講座



入学者 & 受講企業募集中



学校法人 日本プリンティングアカデミー

〒112-0002 東京都文京区小石川 4-13-2 平日 9 時 00 分～17 時 30 分

電話 03-3811-2734

メール info@jpa.ac.jp

FAX 03-3811-3557

印刷 専門学校

| Q



Horizon

Change the focus

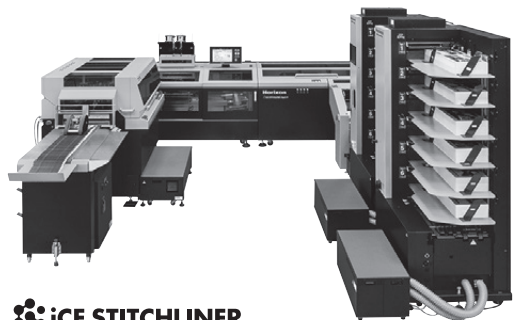
Connected をキーワードに製本工程の自動化を実現します。

iCE Series は、お客様へさらなる高付加価値を提供することを目指した次世代型商品群です。ユーザーフレンドリーなインターフェースで作業性を向上させ、安定した生産性と自動化を高次元で追求しています。さらに、ワークフローシステム「iCE LiNK」との連携により、先進的な作業環境を構築できます。

ペラ丁合鞍掛け中綴じ製本システム iCE STITCHLINER Mark IV

自動化と製本品質の向上を追求

多品種少量生産に対応するために、全自動化することでセット替えの時間を極限まで短縮しました。筋入れ機構や突き揃え機構、折り部、針金の長さ調整、断裁前の位置調整など、各工程における高精度な調整と加工技術で高品質な製本を実現します。



iCE STITCHLINER

無線綴じ機 iCE BINDER BQ-300

使いやすく進化した無線綴じ製本機

新世代 15 インチパネル HorizonXUI (ホリゾンクロスユーアイ) 初搭載。製本のノウハウと自動化技術を融合し、オペレーターの経験や能力に頼ることなく簡単に製本作業を行うことができます。



iCE BINDER

紙折機 iCE FOLDER AFV-566FKT / AFV-564FKT

生産性と折り品質が向上

ナイフ折り時の最適な給紙間隔をリアルタイムに計測演算し、最高の処理速度を引き出すなど、ナイフストッパーの脱着作業を含めた様々な設定を自動化し、幅広いアプリケーションに迅速に対応します。



iCE FOLDER

三方断裁機 iCE TRIMMER HT-300

高生産性と自動化を追求

一枚の断裁刃で天地、小口の三辺を断裁します。断裁前と断裁後の寸法をタッチパネルに入力することで設定が完了し、最高 300 サイクル / 時で高生産性を実現します。冊子厚さの自動測定や、断裁角度の微調整など、自動調整機能により、精度の高い仕上がりを実現します。



iCE TRIMMER

fb.me/Horizon.sns

ホリゾン・ジャパン株式会社 www.horizon.co.jp

本 社	〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀商ビル5F	TEL.03-3863-5361(代)	FAX.03-3863-5360
東 京 支 社	〒132-8562 東京都江戸川区松江5丁目10-9	TEL.03-3652-7631(代)	FAX.03-3652-8083
京 都 支 社	〒601-8206 京都府京都市南区久世大数町510	TEL.075-933-3060(代)	FAX.075-933-4025
福 岡 営 業 所	〒813-0034 福岡県福岡市東区多の津4-12-17	TEL.092-626-8111(代)	FAX.092-626-8112
仙台サービスセンター	〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東1-7-31	TEL.022-782-2821(代)	FAX.022-782-3068

FUJIFILM
Value from Innovation



Revoria Press EC2100S / EC2100

Revoria Press™

信頼性と創造力で、
ビジネスの新たな地平を拓く

Revoria Press シリーズは、
プロダクション・プリンティングの領域で積み重ねた信頼性と
これまでにない付加価値を導く創造力で、
ハイエンドのプロフェッショナルからオフィスまで、
お客様のビジネスの成功に向かってともに進みます。



上から Revoria Press PC1120、Revoria Press SC285S/SC285、Revoria Press E1 series

富士フイルム ビジネス イノベーション株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3 TEL:03-6271-5111 (代表)
<http://fujifilm.com/fb>

富士フイルムグラフィックソリューションズ株式会社
〒106-0031 東京都港区西麻布2-26-30 富士フイルム西麻布ビル TEL:03-6419-0300 (代表)
<https://www.fujifilm.com/figs/ja>

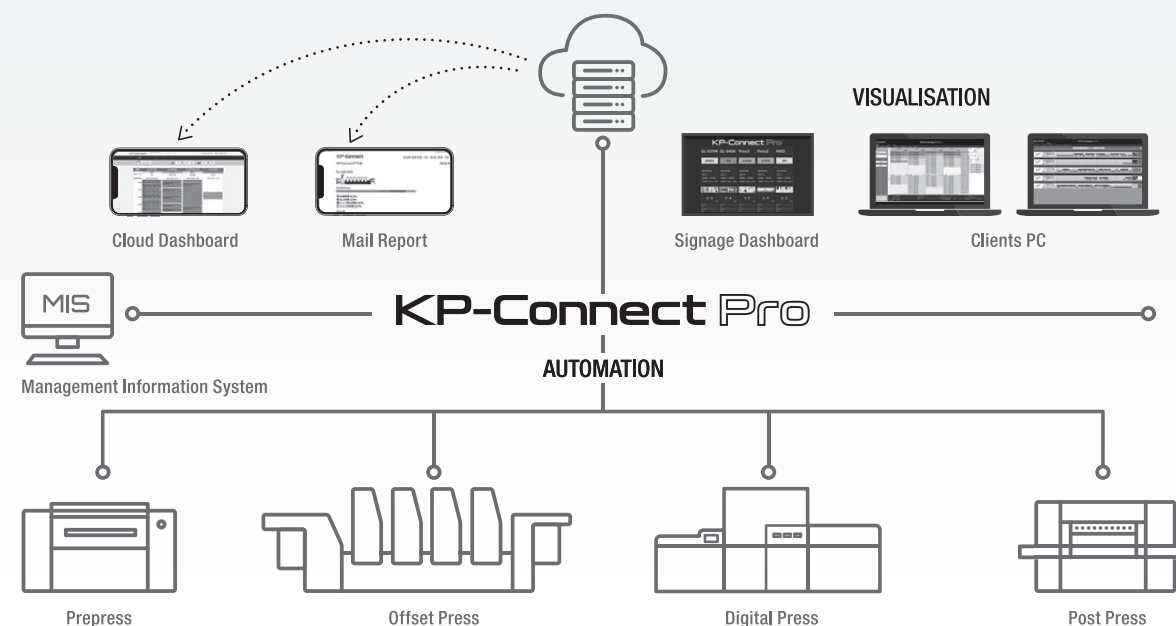
FUJIFILM、および FUJIFILM ロゴは、
富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。
Revoria Press、Revoria Press ロゴは
富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の
登録商標または商標です。

KOMORI

KOMORI
KP-Connect

CONNECTED AUTOMATION

— 印刷DX 新しい世界への扉 —



「データの一元化」「見える化」「整流化」「自動化」



GLX-640A

advance SERIES

LITHRONE GX40
advance

『KP-コネクトプロを軸に省人化・省力化技術を搭載した機械や生産システムをつなぐことで、お客様の生産性を極大化していく』概念です。オープンな環境を提供することで、業界の様々なメーカー・ベンダーと連携、共創していきます。高度な自動化機能を搭載した最新機リスロンGX/Gアドバンスモデルとの併用で、さらなる効果を発揮します。

MADE IN JAPAN WITH STATE-OF-THE-ART TECHNOLOGY

株式会社 小森コーポレーション

〒130-8666 東京都墨田区吾妻橋 3-11-1 TEL.03-5608-7806
www.komori.com

コネクテッド・オートメーション
についての詳細はこちら

<https://www.komorisolutions.com/ca/ja/>



TOKYO QUALITY.

すべてのSPコミュニケーションに最良の品質を。

ユーザーサポートこそ商品

株式会社ショーワは、謄写版および付属品の販売と謄写印刷業の＜昭和謄写堂＞として、昭和3年に幅弓之助が創業しました。

創業者の幅弓之助は「良いものを売り、売ったものには責任を持つ事」に頑固なまでにこだわり続け、そのこだわりは創業から100年に向けて今なおショーワの社員一人一人にDNAとして脈々と受け継がれています。

長きに渡り、多くの取引先企業様より厚い信頼を寄せて頂けるのも、企業理念にもあります様にユーザーサポートという目に見えない、形のない「商品」だからこそ、付加価値を創造し続け、溢れる情報、市場状況を正確に分析・判断しうる知識とユーザーサイドで常に物事を考える「誠意」が評価して頂けているものと考えています。

今後も常に「ユーザーサポートこそ商品」の企業理念、創業者・幅弓之助の熱い志を胸に社員一同業務につとめていく所存です。

21世紀のグラフィックアーツを共に考えるショーワユーザー会

コラボレーション＆リサーチ

SHOWA会

ユーザー会で密に情報交換

年間活動

- 研修会 ○工場見学 ○総会・幹事会
- 会報・メールマガジンの発行 ○有志グループ活動

問い合わせ、入会お申込みは事務局まで

SHOWA会事務局 TEL.03-3263-6141 FAX.03-3263-6149



株式会社

ショーワ

プリントメディアの総合商社

<http://www.showa-corp.jp/>

〒101-0065 東京都千代田区西神田2丁目7番8号 TEL 03-3263-6141(代) FAX 03-3263-6149

東京リスマチック株式会社

なんでも相談窓口

プリントデスク ☎0120-269-132

平日(月～金) 9:00～17:00 E-mail: support@lithmatic.co.jp



Lithmatic
<http://www.lithmatic.net>

字 守 在 由

文字とつながる。
世界がひろがる。



Morisawa Fonts

デスクトップフォント

8書体まで利用可能 **Select8** 24書体まで利用可能 **Select24** 上限なく書体を選択可能 **スタンダードプラン**

Webフォント

サイト規模やプロジェクト数などに合わせて選べるプラン
Webフォント / Webフォント Lite



morisawafonts.com

いろいろなコト は モトヤにご相談ください!!



琴音 愛

皆様と共に歩み続けるモトヤは、
皆様のお困りごとを解決する
「コトウリ」のご提案を続けます。

※詳しくは…



そして、 SDGsのゴールの実現に 協力していきます。



— 2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」への取り組み —

印刷現場の環境改善を考える



環境対応資材

ECO no MISTは、
お客様と共に「環境」と「価値」を考える
モトヤの資材ブランド。
消耗品による環境改善を実現します。

※詳しくは…



※詳しくは…



多くの人へ情報やイメージを伝えていく
美しく、効果的に。
社会への負荷も可能な限り抑制していく
サインシステムの枠を超えた、ルーファス。

人に、社会に、ルーファス



内照式ファブリックサイン

印刷業界の人材採用をお考えの企業様

◇社員紹介 ◇紹介予定派遣 ◇人材派遣 ◇業務委託などのご相談は…

モトヤ **キャリアエージェント部** へ

大阪 ☎(06)6358-9124 / 東京 ☎(03)3523-8719

人材派遣業 派 27-030254 / 人材紹介業 27-コ 030174



印刷のソリューションプロバイダー



大阪 〒530-0038 大阪市北区紅梅町 2-8 ☎(06)6358-9131(代)
東京 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-5-5 ☎(03)3523-8711(代)
横浜・千葉・名古屋・京都・神戸・姫路・福岡

2025 年 12 月

ジャグラBB
JaGra Broadband Contents Service

広報委員会
が選ぶ!

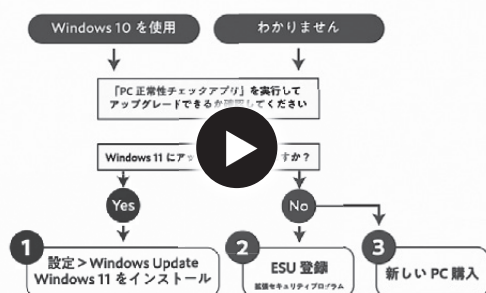
HOT NEWS

おすすめ番組情報

いますぐチェック!

ジャグラ BB | 🔍

Windows 10を使用していますか?



もう Windows 10 が
終了したにやか...

カテゴリー>教育と技術>DX・総務経理・その他

2025 年 10 月 14 日
サポート終了

Windows 10 まだ使えるの?

2025年10月14日をもってサポートが終了した Windows 10 について、この動画では、印刷会社の皆様が直面する 2 つの重要な環境変化について、具体的な対応策を解説します。

第一部では、Windows 10 をお使いの方向けの移行手段の選択について、第二部では、2026 年以降の Windows プリンタードライバーの環境変化について解説しています。Windows をお使いの方はぜひご視聴ください。



| N | E | W | S |

業界の動き

イベント

スマートソリューションフェア開催 高速無線綴じラインを披露

ホリゾン

ホリゾン・ジャパンは 11 月 6 日、7 日の 2 日間、東京都江戸川区の東京支社ショールームで、「ホリゾン・スマートソリューションフェア 2025 秋 in 江戸川」を開催しました。

会場では中ロット生産から多品種少量生産まで対応する高速無線綴じライン CABS6000 のデモンストレーションが行われ、毎時 4,000 冊の文庫サイズから、コミック B 6 サイズへのセット替えを披露しました。

また、クラフト梱包の自動化提案として、富士油圧精機株式会社のデリバリスタッカーの一本交互集積機、小型自動クラブ

ト（マルチパック）

ロールタイプ、自動

ラベル貼り機を展示

しました。



CABS6000 を実演



富士油圧精機の製品も展示

関連業者

印刷タイムス 70 周年で記念対談 全印工連・瀬田会長とジャグラ・岡本会長が対談 印刷タイムス

印刷業界誌の印刷タイムスは 2025 年 3 月で創業 70 周年を迎えたことから、11 月 11 日、大阪市中央区のホテル日航大阪で、創業 70 周年記念対談 & 情報交換会を開催しました。

記念対談では、全日本印刷工業組合連合会の瀬田章弘会長とジャグラの岡本泰会長がパネリストを務め、パリューマシーンインターナショナルの宮本泰夫副社長がコーディネーターとなり、「価格競争から価値協創・価値競創へ印刷業の未来を語る 90 分 ― 印刷の本質と地域・社会への価値発信をどう再

構築するか〜」をテーマに語り合いました。両会長は価格競争の現状について意見を述べた後、印刷業界の未来に向けた価値づくりの重要性を指摘。従来の印刷業にとらわれない、情報サービス産業としての変革を呼びかけました。

情報交換会では発起人を務めた作道印刷株式会社の作道孝行社長が趣旨を説明、印刷タイムスの安藤光信社長が参加者へ 70 周年の感謝を述べました。



印刷タイムス 70 周年記念対談

関連団体

日印機協定時総会を開催 セミナーで AI 活用学ぶ

日本印刷機材協議会は 11 月 17 日、東京都千代田区の喜山倶楽部で令和 7 年度第 67 回定時総会を開催しました。総会後はジャグラ、東京グラフィックスの理事もご招待を受け、講演会と懇親会が行われました。

講演会では、AI 技術開発などを手掛ける株式会社トリプリアイズの藤澤由士執行役員が「未来を彩る AI と印刷の革新〜革新と創造で拓く次世代印刷の未来〜」を演題に講演。AI の技術動向などを基礎的な情報から業務効率化の具体例となる AI 活用などを紹介しました。



日印機協懇親会で挨拶する宮崎代表

7 年ぶりに大変身の理由とは? カテゴリー>教育と技術>DX・総務経理・その他

何が変わった? 見た目編

デザインの 3 大変化

1. 曲線がなめらかに
2. グラデーションが鮮やか
3. シンプル化

気づいた? Office アイコンが変わった!

2025 年 10 月から展開されている約 7 年ぶりの Office 大規模リニューアルについて、印刷会社の皆様にご案内しておきたいポイントを解説します。日々の業務の合間に、最新の Office 動向と AI 時代への対応をキャッチアップしましょう。



**BTube への
映像データ募集中!**



スマートフォンで
簡単投稿♪

投稿方法は
こちらから→



ジャグラ BB は、ジャグラが運営する、印刷業関連のセミナー、情報動画配信サイトです。2006 年の開局以来、印刷業の情報収集、人材教育ツールとして多数の印刷会社に活用されています。

新刊案内

『印刷白書 2025』を発刊
AI と GX に着目
JAGAT

公益社団法人日本印刷技術協会（JAGAT）はこのほど、『印刷白書 2025』を発刊しました。

印刷業界で唯一の白書として 1994 年以来、毎年発行されていますが、2025 年版では組織変革などの項目を追加。「第 1 章 Keynote」を page2026 のテーマ「Re : Connect ～再びつなぐ、印刷のチカラ」と連動させ“Re : Connect”としています。続いて「第 2 章 印刷産業の動向」では印刷産業の現状と課題を俯瞰的に捉え、「第 3 章 印刷トレンド」では技術的課題を整理しています。「第 4 章 関連産業の動向」ではクライアント産業の動向を探り、「第 5 章 印刷産業の経営課題」ではサステナビリティから人材まで印刷産業が取り組むべき課題を整理しています。

また、印刷メディア産業に関連するデータを網羅し、UD 書体を使った見やすく分かりやすい図版を多数掲載し、他誌には見られないオリジナルの図版も充実させています。

■本書の内容

第 1 章 Keynote Re : Connect

商業印刷の価値は再定義できるか 未来に向けて「Re : Connect」するために

第 2 章 印刷産業の動向

【産業構造】 印刷がつなぐ社会へ広がり続ける印刷の可能性
【産業関連表】 多様な産業の需要に応える印刷製品と関連サービス

【市場動向】 自律成長に向けた拡印刷による多角化 課題解決型とサービス型へのシフト

【上場企業】 サステナビリティと DX で未来を切り拓く上場印刷企業

第 3 章 印刷トレンド

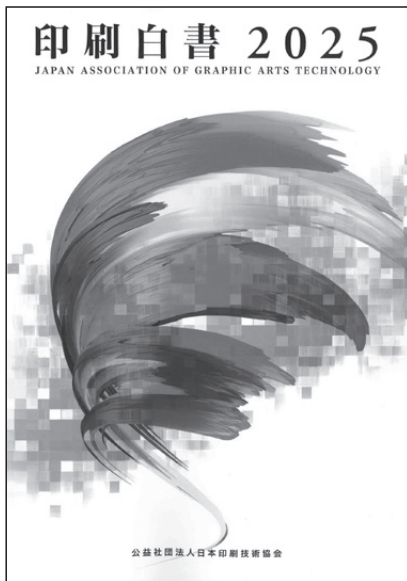
【デザイン】 デザインの力で印刷の価値を高める
【ワークフロー】 印刷業界の新たなエコシステム構築に向けて
【デジタル印刷】 加速するデジタル印刷シフトと未来展望
【後加工】 製本業界の課題と技術革新 構造改革で目指す持続的成長

第 4 章 関連産業の動向

【出版業界】 大手出版も取次もデジタル印刷に本腰 返品率改善の切り札として期待の DSR

【新聞業界】 デジタル時代に進化する新聞～信頼を強みに新たな役割へ

【広告業界】 広告費は過去最高の 7.7 兆円、インターネット広告は 3.7 兆円に



【地域メディア】 地域メディアを起点にした課題解決と価値創出

【通信販売業界】 通販・EC 市場売上高初の 14 兆円台に突入 伸び率もやや前年上回る

第 5 章 印刷産業の経営課題

【サステナビリティ】 サプライチェーンで求められる環境対応
【地域活性化】 高まる民間企業の地域活性化参画への期待 共助領域の課題解決をビジネスの手法で

【経営管理】 活学で部下と「コミュニケーション上手」になるには？

【デジタルマーケティング】 SNS は「対話」と「体験」を重視するマーケティングツールへ

【AI 活用】 2030 年に向けた印刷業界の AI 活用戦略

【組織変革】 拡印刷を成功させる組織変革の進め方 変革理論を指針としたプロセスづくりの要諦

【労務管理】 変化する中小企業施策と経営力による成長戦略の道

・巻末資料

■本書概要

タイトル：印刷白書 2025

監修・著：公益社団法人日本印刷技術協会

判 型：A 4 判並製

頁 数：112 ページ（オールカラー）

I S B N：978-4-88983-181-8

発 行：公益社団法人日本印刷技術協会

定 価：15,400 円（本体 14,000 円＋税 10%）

（JAGAT 会員は特別割引税込価格 9,900 円）

※ JAGAT 会員企業の代表者には 1 冊無償配布します

通信販売：

下記ウェブサイトよりお申し込みください

<https://www.jagat.or.jp/archives/498851>

日印産連の活動ピックアップをご紹介します。

JFPIREPORT 冊子と同内容の PDF を掲載しておりますのでぜひ併せてご覧ください。

JFPIREPORT

ダイジェスト版

各タイトル横の番号ごとに、WEB ページで詳細がご覧いただけます。右記の QR コードよりご確認ください。



2025 年「9 月 印刷の月」講演会・記念式典・懇親会開催

9 月 11 日（木）、東京・紀尾井町のホテルニューオータニ「鶴の間」にて開催いたしました。講演会は、印刷博物館館長 京極夏彦氏を講師に招き、「印刷文化－印刷メディアの可能性」をテーマに講演いただきました。

また本年は、従来の日印産連表彰「印刷功労賞」「印刷振興賞」「特別賞」に加え、40 周年特別表彰「役員永年功労者」「事業永年功労者」「永年功労団体」を設け表彰を行いました。表彰式後は、懇親会も行われ、交流を深めあう賑やかな宴となりました。



主催者代表挨拶 麿 秀晴会長



講師 京極夏彦氏



役員永年功労者 3 名



事業永年功労者 2 名

【1-1】2025 年「9 月 印刷の月」記念式典・懇親会の様子

【1-2】2025 年度日印産連表彰受賞者のご紹介



永年功労団体 代表者

2025 グリーンプリンティング (GP) 認定制度 3 賞決定 【3】

〈GP 環境大賞・GP マーク普及大賞・GP 資機材環境大賞〉

表彰式は 10 月 15 日（水）に出版クラブホールで執り行いましたので、その様子は次号 JFPIREPORT にてお届けいたします。

日印産連 40 周年記念 トークイベント 【4】

全国カタログ展 文部科学大臣賞 受賞作品
「FINE PAPER × SILK SCREEN 見本帳」
制作秘話 トークイベント

2025 年 8 月に開催した『ファインペーパー × シルクスクリーン × デザインが魅せる世界』の様子を動画で公開いたしました。会場での熱気や登壇者の貴重なお話を、ぜひご覧ください。



● その他の活動などについても WEB ページに掲載、更新しておりますので、ぜひご覧ください。【5】

印刷用語集

聞きなれない専門用語も多い印刷用語をカテゴリ別や 50 音で探すことができ、わかりやすく解説しています。

「印刷って、何？」が、楽しくわかる
ぷりんとぴあ

印刷産業 Monthly Report

各種統計データなどを基に、印刷業の動向、国内経済動向から得意先市場の動向、及び印刷に関わる資機材業の動向を毎月末に公表しています。

出版物のご案内

印刷会社のみなさんに役立つ情報を掲載した小冊子をご購入いただけます。



行こうぜ、印刷の向こうへ

期：2025年10月25日^土

文：稲本創（茨城県支部青嵐会会長・全国協議会茨城大会実行委員長）

懇親会のクライマックス、ステージの上からサングラス越しに見た景色は、驚くほど既視感にあふれていた。隣で踊る実行委員会メンバーと書道部、ステージ下で盛り上げる応援団、振り向くと目に入るド派手な書、目の前には楽しそうに笑う参加者の皆さん。何度も何度もイメージしてきた、エネルギーに満ちた風景がそこにあった。

茨城での挑戦：開催地決定から始まった物語

2年前、笹井さんが代表を務める年度に2025年の全国協議会開催地を決めた。順番的に次は関東地区で、という話があり、自分の独断で手を挙げてしまった。SPACE-21の皆さんに土浦へ来てもらいたいという気持ちもあったが、その時は、「まあ100人規模の大会なら何とかなるだろう、内容も適当な人を呼んでセミナーすればいいだろう」程度に考えていた。しかし、実際に準備を進める中で、その考えは大きく変わっていく。

協議会の約1年前に、小澤代表をはじめSPACE-21の三役で開催地である茨城県支部に挨拶に伺った。その時、テーマの方向性としてAIに取り組むことを



茨城県支部挨拶の前に弊社にて
まだあまり深く考えていない筆者（中央）

話した。個人的にも未知の領域で、興味があった。適当なセミナーというわけにはいかなかったなと思いつつ、しっかりやっ払いこうと決意を新たにしていた。そして仲間を探すべく、山梨AUCの鈴木智也さんと若林さんに声をかけた。その後、以前から知り合いでありFACEで再会した千葉県支部の熊谷さんを勧誘し、同じく千葉県支部の大和久さんにも声をかけてもらった。担当として田治副代表幹事、茨城の鈴木真吾さんを加え、7名でのスタートとなった。

地域性とテーマの融合：土浦の独自性を追求して

協議会の方向性を考える中で、土浦の独自性を出したいと思った。何があるかと考えた時、ヤンキー文化が頭に浮かんだ。AIという最先端のものと、ヤンキー文化というノスタルジック(?)なものの組み合わせが面白いと思った。懇親会のアトラクションも、地元で活動している先輩に聞き込みをし、土浦第二高等学校の書道パフォーマンスと、常総学院高等学校の応援団を紹介してもらった。両方とも地域性があり、ヤンキーとの親和性も感じた。（常総学院は実現せず、國學院大学に依頼した。）

書道パフォーマンスでは、特攻服の刺繍にあるような、ヤンキーポエム的な内容を書いてもらい、そ

れを横断幕代わりに掲げたら見栄えがいいのではとひらめいた。何を書いてもらうか考える中で出てきた言葉が「AI上等」だった。「上等」という言葉の

意味を調べると、「何か困難な状況や不利な状況に置かれた時に、どうなっても構わない、それならそれで良い、と開き直り、積極的に立ち向かう姿勢」とあった。青年団体として、AIという未知の可能性を持つものに対して積極的に取り組んでいく、という姿勢に合致すると思い、大会テーマにすることにした。



マスコットキャラクターのデジタルヤンキーと登録担当の若林さん(山梨AUC)

実行委員会の挑戦：自ら汗をかく姿勢

大会を設営するにあたり、自分の中でこだわりとして持っていたのは、実行委員会が自らパフォーマンスをするということだった。プロに来てもらえば楽しませてもらえるのは当たり前。たとえ拙くても、来てくれた皆様を実行委員会が手弁当で一生懸命楽しませるという姿勢が、我々のような青年団体には必要だと思った。大袈裟ではなく、懸命に汗をかいた先には感動すら生み出せると信じていた。

そこから考えついたのが、氣志團のワンナイトカーニバルの替え歌であった。実行委員会がヤンキーのコスプレをして、書道パフォーマンスの書をバックに踊ったら絶対盛り上がる。書道部や応援団にも一緒に踊ってもらったら、最高に映える、とアイデアがどんどん浮かんできた。替え歌の歌詞を考えるのも苦労したが、曲の終わりに登場する「行こうぜ、ピリオドの向こうへ」というセリフを、「行こうぜ、印刷の向こうへ」と替えることを思いついた時、最後のピースがはまった感覚があった。大会テーマ「AI上等～印刷の向こうへ～」が完成した瞬間だった。

協議会の内容：生成 AI の可能性を探る

懇親会のアイデア出しはどんどん進んでいったが、協議会の内容も考えなければならない。ちょう

どその頃、SPACE-21の総会において、株式会社大塚商会様による生成AIをテーマとしたセミナーがあったので、何かヒントになることはないかと前のめりで参加した。そこで紹介されたのがChaChatアシストであった。印刷会社でよくある印刷機のトラブルや営業ノウハウなどを読み込ませて、SPACE-21メンバーで知識の共有ができればいいのではないかと、というアイデアが上がった。

最終的に「トラブル事例と解決方法」「みんなの設備とできること」「印刷会社向け採用マニュアル」の3つのサービスを用意することになった。セミナーに関しては大塚商会様から講師を派遣していただくことになったが、ChaChatアシストの活用方法については実行委員会で作ったものについての発表となった。懇親会同様、自分たちで作り上げる、というこだわりにもはまった。

準備と当日の舞台裏：困難を乗り越えて

計画段階で株式会社SHITARAの金田さんが加わり8名となった実行委員会だが、メンバーが茨城、千葉、山梨と地理的に離れていたため、会議は主にzoomで行った。zoom会議は毎回議題を2つか3つ用意し、1時間半程度で終了するようにした。しかし我々にはパフォーマンス練習という、どうしても実行委員会を現地開催しなければならない理由があったので、つくばで1回、千葉で1回、甲府で1回の計3回リアル会議を開催した。限られた練習時間だったが、上手さよりも一生懸命練習してきたことを見せられることが大事とメンバーを励まし続けた。ちなみに、最後のパフォーマンスについては実行委員会メンバー以外、口外厳禁のサプライズであった。甲府に行った際、小澤代表が会議に参加し



千葉市での初練習でまだ不安な表情のメンバーたち

たいと言い出した時はどうしようかと思ったが、その申し出を鈴木智也さんに抑え込んでいただき、練習後の最後の30分だけ会議に来ていただいた。

そして迎えた大会当日。準備万端で臨んだつもりが資料に漏れがあり、会社に戻って印刷物を一つ作成する必要ができた。しかし、委員会メンバーに役割分担を行い、それぞれの場所で責任者を立てていたので、自分がいなくてもしっかり準備をしてくれた。非常に頼もしかった。どうしても1人で進めてしまいがちな自分だが、仲間のありがたさを感じることができた。



歓迎の挨拶でご来場の皆様に感謝の意を述べる稲本実行委員長

全国協議会開幕：垣間見えるジャグラらしさ

受付が始まり、ぞくぞくと集まってくるSPACE-21やジャグラ会員の姿を見て、ついにこの日が来たかと思った。協議会が始まり、来賓挨拶の時に、岡本会長に間違った挨拶時間が伝わってしまっていたことが判明した。これはもともと5名の来賓全ての方にご挨拶をいただこうと設定していた時間で、挨拶が岡本会長だけと変更した後も資料に残ってしまっていた時間だった。しかしそんな我々のミスを見透かしてか、岡本会長は全来賓をステージに上げて急遽挨拶をいただくという、岡本会長にはこの場を借りて謝罪と御礼を申し上げたい。

セミナーでは、「印刷業における生成AIの活用と安全な利用法」というテーマで、大塚商会の阿部主任にお話をいただいた。セミナーに至るまでに、複数回のzoom会議やメールでの対応をしていただき、良

いものにしたいと言うこちらの想いに応えてくださった。

ChaChatアシストサービスの紹介&グループワークは、早口で聞きづらいスピーチだったと思うが皆さん熱心に聞いてくれた。グループワークではフォローが行き届かない部分があり、ご不便をおかけしてしまったと思うが、それぞれのグループで積極的にリードしてくださる方がいたのは非常にジャグラらしいと思った。

感動のフィナーレ：印刷の向こうへ

懇親会のオープニングを務めてくれた土浦第二高等学校書道部の書道パフォーマンスは素晴らしかった。我々の世代を考慮して選んでくれたB'zのウルトラソウルにのせて、パワフルかつ繊細な筆使いで大会テーマを書き上げてくれた。一生懸命パフォーマンスする姿にとっても感動した。そして会は進み、いよいよクライマックス。國學院大學全學應援團が演技をしている姿に後ろ髪を引かれながら、着替えのために控え室へ。衣装に着替えている時、今までのが思い出された。初めて実行委員会にこのサプライズを共有した時は、皆乗り気ではなかった。それはそうだ。コスプレして踊るなんて、滑ったら目も当てられない。だがメンバーに対して「絶対、大丈夫」と言い続けた。根拠はなかったがビジョンはあった。そんなメンバーが楽しそうに一緒に踊ってくれる。これまでの努力が報われたと感じながらステージ袖へと向かった。

そして、演技を終えた応援団からの「全国協議会実行委員会より来場の皆様へ」の呼び込みに合わせて、皆の想いを噛み締めながら俺たちは栄光のステージへと飛び出した。



サプライズパフォーマンスを披露する実行委員会メンバーと二高書道部員



小澤代表による挨拶



西岡全青協議長



蛇嫂日本JCメディア印刷部会長



亀田印青連会長



清水全国緑友会会長



岡本会長による来賓御祝辞



司会を務めた千葉県支部の大和久さん



講師の阿部様(大塚商会)



グループワークの様子



次回開催地である愛育会の皆様よりPR



國學院大學全學應援團より印刷業界へ向けてのエール



土浦第二高等学校書道部による書道パフォーマンス



松谷副代表幹事による締めのご挨拶 実行委員会・二高書道部・國學院大応援団も一緒に

「ChaChatアシスト for SPACE-21」リリースについて

ChaChatアシストとは、安全に文書生成AIが利用できる、株式会社大塚商会様が提供するサービスです。ChaChatアシストはチャット履歴がAIに学習されることがなく、個人情報や社内の秘匿性の高い情報を扱うことができ、情報漏えいやセキュリティのリスクに対応しております。全国協議会開催に際し、SPACE-21で団体契約をしました。こちらの「ChaChatアシスト for SPACE-21」では、さらに印刷業界のつながりを利用し、各社が持つ知識を共有することができる仕様となっております。

現在、少しでも早く皆様にお使いいただけるように準備中です。1ユーザー当たり月額1,000円程度で気軽にお使いいただける予定です。最新情報につきましては、今後グラフィックサービス誌面等でご案内いたします。



東グラ「グラサー営業部」、 今年も「組合まつり2025」で 元気にPR！ ー “文化祭ノリ” で挑んだ一年間のチームワーク ー

東京グラフィックス（東グラ）は、2025年10月29日・30日に東京国際フォーラムで開催された「組合まつり2025」に出展しました。このイベントは東京都中小企業団体中央会が主催し、今年は130を超える組合が参加。組合の魅力発信や販路拡大を目的に、多彩なブースが並びました。会場全体が活気に満ち、まさに“東京のものづくり文化祭”とも言える盛り上がりでした。

東グラの出展は、19社の会員企業で構成されるクラブ活動「グラサー営業部」が中心となって準備を担当。実は準備は昨年の打ち上げでリーダーを選んだ瞬間からすでにスタートしており、約一年間の話し合いや企画を重ねてきました。単独で展示会に出るのはハードルが高い企業も多い中、「ここで経験できるのは貴重」との声も。参加メンバーの社員も積極的に動き、ブース構成から集客方法まで、皆で意見を出し合いながら取り組みました。準備期間はまさに学生時代の文化祭のようで、「あの頃より真剣だったかも…」という声も聞こえてくるほどの熱気でした。

東グラは今回の展示会に合わせ、営業部としての活動を強化。参加企業が得意とするサービスを紹介するため、「グラフィック・カタログ」を制作しました。表紙には「発想から発送まで」と掲げ、印刷はもちろん、イベント企画、カード類、クリアファイル、自費出版、ホームページ制作・運用、さらには税理士法人によるサービスまで、会員企業の幅広さを象徴した内容になっています。「このコピー、実は会員の守備範囲の広さをどうしてもひと言で言い表したかったんです」との担当者の声もあり、“言い得て妙”と評判でした。

組合まつり当日は、来場者（＝お客様）に向け、このカタログと専用ホームページを活用し、興味のあるサービスを選んでもらうという仕組みを導入。選ばれたサービスは東グラ事務局を通じ、該当する会員企業に連絡が届く流れになっています。展示会向けに開発したシステムではありませんが、これ、実は展示会が終わってからも使えるんです。各社が自社の営業ツールとして持ち帰り、新規開拓や既存客への提案に活かせる設計になっています。東グラのサービスを“自分の会社のメニュー”として紹介できるため、会員同士が協力し合う効果も生まれています。

今回は組合まつり参加企業を中心に構成しましたが、今後は東グラだけでなくジャグラ会員まで対象を広げる案も検討されています。来年の「新・グラサー営業部」がどのように発展させていくか、ますます楽しみです。

なお、今回制作したホームページはQRコード、または以下のURLよりアクセスできます。ぜひ一度ご覧ください。

<https://catalog.tokyographics.or.jp/>



参加企業一覧（敬称略）

株式会社金精社／株式会社研美社／株式会社いなみつ／株式会社昇文堂／株式会社文化ビジネスサービス／株式会社アイト／株式会社ケイスイ／株式会社向陽デジタルワークス／有限会社鈴木商店／株式会社スズバック／菁文堂株式会社／株式会社ダーツ／西谷印刷株式会社／有限会社ねころのーむ／株式会社松谷メールサービス／株式会社コンゴ商会／株式会社グッドクロス／税理士法人グランサーズ／株式会社東洋ビジネス

事務局日誌と 今後の予定

最新情報はHPでご確認ください

11月の事務局日誌

- 4日 広報委員会（Web会議）
- 5日 Pマーク審査会・個人情報保護委員会（本部）
- 6日 地域活性化委員会（本部）
- 7日 理事会、全国協議会、懇親会（1日目）（KFCホール、第一ホテル両国）
- 8日 全国協議会（2日目）（KFCホール）
役員推薦委員会（KFCホール）
自費出版文化賞表彰式（アルカディア市ヶ谷）
- 11日 印刷タイムス70周年記念イベント（大阪）→岡本会長、田中専務
ジャグラコンテスト委員会（Web会議） ジャグラBB工場探訪撮影→今田
- 12日 Pマーク現地審査（大阪）→田中専務
- 13日 Pマーク現地審査（大阪）→田中専務
- 14日 Pマーク現地審査（大阪）→田中専務
- 17日 日印機協総会（喜山倶楽部）→田中専務
- 18日 業態進化委員会（Web会議） SPACE-21 幹事会（Web会議）
- 19日 日印産連ステコミ（Web会議）→岡本会長、田中専務
サスティナ酒場（Webイベント） Pマーク現地審査（栃木）→今田、笠原
- 25日 日印産連GP推進部会（Web会議）→田中専務
- 27日 サスティナブル委員会（Web会議）
70周年誌編集委員会（Web）

12月のスケジュール

- 1日 ジャグラショートカット委員会（Web会議）
- 3日 正副会長会議（Web会議） MIS研究委員会（Web会議）
- 4日 Pマーク現地審査（静岡）→田中専務
- 5日 Pマーク現地審査（秋田）→田中専務
- 9日 Pマーク現地審査（埼玉）→今田、笠原
- 10日～13日 キャレオスフォーラム→岡副会長、田中専務
- 10日 「page2026」記者発表→笠原
- 17日 Pマーク審査会・個人情報保護委員会（本部）
- 18日 生産性向上委員会（Web会議） 地域活性化委員会（Web会議）
- 22日 会員拡大委員会（Web会議）
- 23日 業態進化委員会（Web会議）

2026年1月のスケジュール

- 7日 理事会（Web会議）
日印産連新年交歓会（オークラ東京）
- 8日 広報委員会（Web会議）
- 13～14日 Pマーク現地審査（鹿児島）→今田
- 15日 環境表彰制度検討WG（印刷会館）→田中専務
日印機工年始会（東京プリンスホテル）→田中専務
- 16日 東京イノベーション発信交流会→齋藤理事、田中専務
- 19日 東グラ新春賀詞交歓会→田中専務
- 20日 会員拡大委員会（Web会議）
- 21日 Pマーク現地審査（高知）→田中専務
- 22日 Pマーク現地審査（高知）→田中専務
- 23日 作品展委員会（Web会議）
神奈川県支部賀詞交歓会→田中専務
- 28日 Pマーク審査会・個人情報保護委員会（本部）
産連ステコミ（Web会議）

事・務・局・便・り

9月より始めたソー・オ・ス・リーム生活の進捗をご報告。残念ながら、体重減少という目に見える効果には繋がっていません。しかし、清涼飲料水への手が伸びなくなったのは大きな変化！ 家計への影響は、ジュース代の節約と炭酸ボンベ代の出費が相殺しているのが現状ですが、人工甘味料フリーの生活は健康的で気分が良いものです。そして、追い討ちをかけるように家族の強烈な勧めを受け、11月からはついにジムに入会しました！ 今は筋肉をつけることより、有酸素運動を中心に汗をかくことを最優先にしています。ソーダストリームで清涼飲料水を断ち、ジムで代謝を上げるというこの「合わせ技」で、今度こそ体重が減ってくれることを期待しています！（今田）

※「事務局便り」は本部事務局員が交替で執筆しています

No.889
2025
12

月刊『グラフィックサービス』889号

■発行日 令和7年12月10日（毎月1回）
■発行人 岡本 泰
■編集人 本村 豪経
■発行所 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会 略称ジャグラ
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16
電話 03-3667-2271 ファクス 03-3661-9006
ウェブ <https://www.jagra.or.jp/>



ジャグラは一般財団法人日本情報経済社会推進協会指定のプライバシーマーク指定審査機関です

■編集部宛メール edit@jagra.or.jp

◎企画：ジャグラ広報委員会

担当理事

神山 明彦 愛知・㈱カミヤマ / 副会長

委員長

本村 豪経 福岡・アイメディア㈱ / 理事

委員

東海林正豊 秋田 / ㈱東海林印刷
谷山 和也 東京 / 菁文堂㈱
野口 聡 東京 / ㈱アクティブ
小澤孝一郎 山梨 / ㈱オズプリンティング
安達 睦男 大分 / ㈱舞鶴孔版
瀬尾 淳 広島 / ㈱広瀬印刷
三宮 健司 高知 / ㈱三宮印刷
佐藤 愛子 大分 / ㈱クリエイツ
西谷 毅 東京・文京 / 西谷印刷㈱
松谷 勝広 東京・文京 / ㈱松谷メールサービス
笹井 靖夫 東京・文京 / 共立速記印刷㈱
田中 良平 専務理事

◎原稿・編集・校正

田中 良平 阿部奈津子 今田 豪
長野未奈美 古田 理子 笠原賢一郎
以上、ジャグラ事務局

◎渉外 田中 良平

◎広告 田中 良平

◎Web 阿部奈津子

◎動画 今田 豪

◎組版（㈱クリエイツ、大分県支部）

DTP = Adobe CC ほか
フォント = モリサワ OTF / モリサワ BIZ+ ほか



※本誌の一部にユニバーサルデザインフォントを使用しています

◎製版 / 印刷（㈱西村謄写堂（高知県支部）

RIP = FUJIFILM WORKFLOW xmf
CTP = Luxel T-6300（自現：富士フィルム XP-1310R）
刷版 = FUJIFILM SURERIA XP-F
印刷機 = RYOBI 924D
インキ = 東洋インキ
用紙 = 三菱ニューVマットA判 57.5kg

Copyright 2025 JaGra

禁無断引用

※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です
原則、TMや®マークは省略しています
※乱丁 / 落丁本はお取り替えいたします

【雑学コラムお題の答え】 弘前城（青森県）

RMGT-CSPI

ともに創る印刷の未来



RMGT-CSPIが
SDGs達成をアシスト



印刷会社のSDGs達成のためのソリューションを提案、具現化するRMGT-CSPI。
各分野の企業が連携し、お客さまに寄り添いながら課題を解決・サポートします。

